

2019

国鉄長堅

闘春

国鉄労働組合

長野地方本部

長野市中御所3-2-22

発行責任者 久保田清一

編集責任者 北沢 正美

2019年 1月 1日

第1543号

新しい年とともに
新しい仲間を組合員・家族の皆さん
明けまして

おめでとうございます。

昨年国際的には、米朝首脳会談の実現という画期的な出来事があり朝鮮半島情勢が大きく動き始めた年でした。現在は一進一退の膠着状態

政府は12月14日辺野古の海に埋め立て用の土砂を投入しました。まさに民意と民主主義を踏みしめる暴挙です。諦めずに闘いぬかなくはなりません。

拳に全力を挙げなくてはなりません。とりわけ統一自治体選挙には、多くの組織内候補が立候補を予定しています。全員の当選に向けて奮闘することを願います。

新年のあいさつ
執行委員長 久保田清一

は許しませんが、平和的解決には首脳同士の話し合いが必要という意味では、良い方向に向かっていることは確かです。

国内に目を向けると、

9月30日に投票票された

沖縄県知事選挙において、

8月に急逝した翁長前知

事の後継候補として名護

市辺野古の新基地建設阻

止、自立型経済の発展な

どを訴えた、前衆議院議

員の玉城デニー氏が政府・

与党が全面支援した前宜

野湾市長の佐喜真淳氏を

8万票以上の大差で破り

初当選しました。しかし

に躍起となっています。

昨年中の国会発議は断念

しましたが、夏の参議院

選挙までの憲法改正の国

会発議は何としても実現

させる決意です。私たち

にとって今年は、平和憲

法を守るための正念場の

年となります。多くの人

たちと力を合わせ、何が

何でも安倍首相の狙いを

打ち砕いていかなくは

なりません。そのために

も4月に行われる統一自

してしまします。他人任

せでなく、自らが行動し

て組織拡大を実現してい

きましょう。全組合員の

ご協力をお願いします。

何かと課題の多い一年

となりますが、組合員の

皆さんのご協力をお願い

します。

最後に今年一年が組合

員・家族の皆さんにとっ

て素晴らしい年になるよ

う祈念し、新年の挨拶と

します。